

今、日本の農政は「農政新時代」ともいうべき新たなステージを迎えています。夢と希望の持てる農政新時代を創造するために、自民党では未来の農林水産業・食糧政策のイメージを明確にするるとともに、生産者の努力では対応できない環境面を整えていきます。

「農業・農村の所得の増大に向けた10ヵ年戦略」のもと、政策総動員と現場の力で強い農山村づくりを目指し、法人経営、大規模家族経営、集落営農、企業などの多様な担い手に対する融資、税制、出資などの支援を強化。こうした支援などを通じて経営のレベルアップにつながる法人化を推進していきます。また、これからの時代を見据え、農業の担い手の育成にも力を入れていきます。2023年に40代以下の農業従事者を40万人まで拡大させ、世代間バランスを取り、家族経営、法人経営、集落営農企業などの多様な担い手が共存する構造を作りあげていきます。

「攻めの農業」 政府が掲げる政策



新潟県内の農業の今

県内の農業産出額の1位は米であり、新たなブランド米「新之助」も誕生しました。今後も“米どころ”として農業を守っていくためには、水田フル活用政策への理解を促し多収穫米作付けへの誘導を図るとともに、需要拡大や輸出促進などによる米の販路拡大策の推進が必要となっていきます。農業の多面的機能を発揮させ、日本の食糧基地として、本県農業の確立を目指した政策の展開を図っていかねばなりません。農家の皆様のご意見や要望を取りまとめ、国や県に提言していきます。

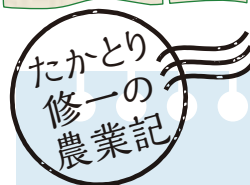


田植えをしたこともない国会議員が農政の何を語れるのか。
もっと農家のみなさんの気持ちを理解したい。
もっと農業の大切さを伝えたい。
そんな思いから、自民党米作りプロジェクトが始まりました。

自民党、米作りに真剣です。



田植えシーズンである5月13日。小雨が降る中、柿崎で田植えの手伝いをさせていただきました。重労働ではありましたが、新緑の中で澄んだ空気を吸って久々にリフレッシュでき、また農業への理解を深め、農家さんたちの率直な思いや意見を直接対話の中で得ることができた良い機会となりました。



国営土地改良事業関川用水地区推進協議会の皆さんと農水省を訪問し、農業農村整備事業の推進に関して、「矢倉農水大臣政務官」に陳情しました。



JA新潟県青連役員の皆さんと談話。TPPを始めとした農業を取り巻く様々な動きについて、党としてしっかり対応しなければなりません。



次号のたかとり修一 Press は…「医療福祉」特集です。

自民党第6選挙区支部 衆議院議員 たかとり修一事務所

上越事務所

〒943-0817 新潟県上越市藤巻10番1号コスゲビル2F
TEL 025-521-0760 FAX 025-521-0761

東京事務所

〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1-1214
TEL 03-3581-5111(代表) 51214(内線)
FAX 03-3508-3987

十日町事務所

〒948-0067 新潟県十日町市千歳町1丁目2番5号
沖ハイデンス2F
TEL・FAX 025-752-7843



Facebookやブログやっています!

たかとりしゅういち

検索